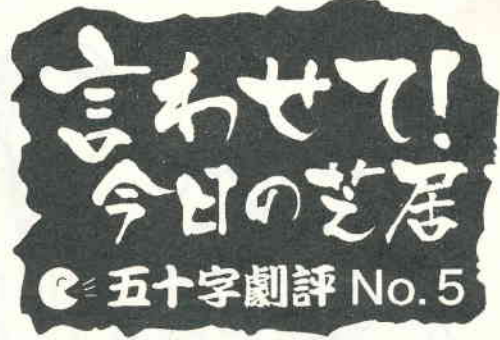


八月の鯨(劇団民藝)



【二〇〇代】

年齢を重ねるとはこういうことなのだと、そしてありのままを受け入れ、変わることができるとのなど感じた。(男性)

【三〇〇代】

大きな動きはほとんどないのに見え方が変わる不思議で美しい舞台でした。(女性)

【五〇〇代】

映画の時にはわからなかった事が、年を重ねた自分に、姉妹の関係、性格の違いこそその複雑で重い「愛」を実感。(女性)

今例会は、「生き続けて行く」との意味」について、静かに深く考えさせてくれる舞台だった。出演者の抑えた深い演技が素晴らしい。(男性)

運営ご担当の皆様、お疲れさまでございます。演劇はやはり素晴らしい!とあらためて突きつけられた一作でした。でもこの作品の台詞には沢山の意味合いが含まれていると感じつつも、さらりと流れて観てしまいましたので、あと五回は観る機会が自分には必要と思いました。(女性)

姉妹の心の中を様々な想像させてもらった芝居。奈良岡さんお見事! 観劇出来てとても幸せな気分!(女性)

【六〇〇代】

座席が遠かったせい、私の耳のせい、時々台詞が聞き取れず、会話の応酬を楽しめなかった。日本を舞台にした作品を希望する。(女性)

ふじ色のドレスに、かすかな光明と失うまいとする自分への誇りと希望を感じました。今を生きている姿に!!(女性)

良かった! 老いることを受け入れながら、再び明日に向かって行く姿が美しい。孤独を恐れずに生きていきたい。(男性)

登場人物が各々の歴史を背負いながら、限りある時間を前向きに生きようとする姿に、静かな感動を憶えました。(男性)



四〇才頃に見た映画私もサラのように素敵に年を重ねたいと思つた作品が舞台に! 期待がふくらむ。もう来なくなった8月の鯨を待ちわびる人。年令を重ねても前を向いて行きぬくひと。私もそんな生き方が出来ているのだろうか?!(女性)



老いても前を見て生きていく人生感に、私ももう少しがんばらなくてはと思いました。奈良岡さんのお芝居は二度目ですが、いつも凜とした姿にあこがれます。

(女性)

奈良岡さん、日色さん、篠田さんに感動しました。口から出る言葉とは裏腹に、内面の焦燥感、苦しみ、悲しみ、諦めが伝わってきました。こういう舞台に出会えて幸せです。

(男性)

舞台の上の生き方を見て思ったことは、あたりまえだけれど、死ぬまで生きていかなければならないなど。

(男性)

人間は社会と隔絶して生きては行けない。その社会は今、高齢者にも若者にも生きずらくなっている。「平和」も危機的な状況。こんな状況では人間らしく生きられない。これを何とか変えたい。同じ思いの人と全力をつくす！

(男性)

奇麗で静かな舞台で眠気に負けた。奈良岡さん、日色さんごめんさい。

(女性)

【七〇代】

ダンディーな篠田さん。可憐な日色さん。「上海パンスキング」以来のロビー交流会。夢心地でした。幸せです。

(女性)

【記入なし】

鯨はまた来るわ、鯨はもう来ないのね、映画と舞台のラストのとらえ方の違い、人は何程のことを受け入れられるのか。

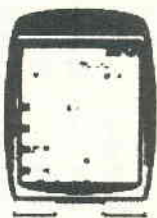
老いる程に失うものが多くなるが、明日に向かって何かを求めることは、いつでも出来るのだなと思わせてくれた。

(男性)

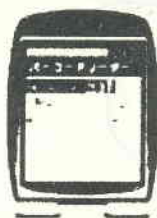
編集スタッフから

今回は、余裕をもってカットを配置できました。毎号、ありがとうございますI・Tさん。「劇評は人の為ならず」。字数は少なくとも思いはその何倍もあります。評価の再確認とこれからの観劇のため、感動が鮮明なうちに投稿を！

劇評は QRコードを携帯でパシャ！、ラクラク簡単送信



これを選択して、劇評を入力。あとは「送信」をポチッ！で終了。



劇評専用アドレスが表示されます。



携帯でQRコード読み取りアプリを起動。劇評QRコードを撮影します。



劇評QRコード